

平成18年度当初予算 重点プログラム別概要

絆2：歴史的・文化的遺産等を活かした三重の魅力づくりプログラム

(主担当部：生活部)

- (1) 歴史的・文化的遺産を活かした風情あるまちづくり推進事業
- (2) 歴史的・文化的遺産を活かした県事業等の推進環境づくり事業
- (3) 歴史資料の保存活用環境づくり事業

<プログラムの事業費>

(単位：千円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	3か年計
当初計画	26,898	29,000	30,000	86,000程度
見直し後	16,485	15,269	23,605	55,359

注：「見直し後」の16年度は決算額、17年度は予算現額、18年度は当初予算額

16年度当初計画、見直し後には、17年度から対象外とした「文化戦略推進事業」分が含まれている。

<事業目標>

目標項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度
(1) 歴史的・文化的遺産保全活用アドバイザー養成数(累計)	目標値		140人	280人
	実績値		164人	
(2) 歴史的・文化的遺産の保全・活用講座受講者数(累計)	目標値		100人	200人
	実績値		90人	
(3) 県の資料の閲覧可能資料率	目標値	30%	50%	60%
	実績値	30%	50%	

注：17年度実績値は1月末現在で把握できる見込み値

<進捗状況(現状と課題)>

- ・地域の歴史的・文化的資源を地域住民が積極的に保存・活用することで、三重の魅力の向上につながる環境をつくるため、地域や行政における人材の育成及び歴史的・文化的に価値ある資源の情報データベースの作成に取り組んでいます。
- ・また、明治期以降の県の公文書や県史編さん事業に伴って収集した歴史的資料について、県民が気軽に活用できるよう環境整備を進め、平成17年度末に閲覧可能となる資料整備率は50%となる見込みであるなど、順調に歴史的資料の整備が図られています。
- ・今後は、こうした三重の歴史的・文化的資源を観光振興や地域づくりにおいても活用していけるよう、取り組んでいく必要があります。

<平成18年度の取組方向>

- ・引き続き、人材育成や情報データベースの作成、歴史的資料の資料整備を推進するとともに、地域の歴史的・文化的資源の観光・交流面における活用に向け、歴史街道等の多様な情報を地理情報と統合して表示するGIS（地理情報システム）を作成し、インターネットにより提供していく取組や、個人の方が所蔵する歴史資料の現況確認・活用のためのデータベース化の取組を推進していくなど、さらなる三重の魅力の向上に取り組んでいきます。

<主な事業>

歴史的・文化的遺産を活かした風情あるまちづくり推進事業

【18年度当初予算額 16,692千円】

歴史的・文化的遺産を活かした風情あるまちづくりに向けた環境整備の一環として、航空写真と古地図を連動させたGIS（地理情報システム）を三重大学と共同で開発し、インターネットを通して公開するとともに、郷土学習や三重県への来訪者などのまち歩き、観光等における活用など、多様な活用を促進します。

また、地域での歴史的・文化的遺産の掘り起こしや歴史的・文化的遺産を活かしたまちづくりの推進に協力いただく人材を育成するとともに、こうした資産のデータベース化を図ります。

歴史資料の保存活用環境づくり事業【18年度当初予算額 6,172千円】

県史編さん事業に伴って収集した資料や歴史的・文化的な公文書について、県民が気軽に活用できるよう資料整備を進めます。

また、本県の歴史・文化の魅力等を広くPRするために、県史にまつわるさまざまな話題を分かりやすく冊子としてまとめ、歴史に関する各種研修会やまちづくり活動等の参考図書として活用を図るとともに、県内の個人の方が所蔵されている歴史的・文化的資源の現況確認を行い、活用のためにデータベース化に取り組みます。